

令和4年度 新宿駅周辺防災対策協議会

セミナー・講習会 実施報告

2022年6月15日

工学院大学建築学部 村上正浩

令和3年度協議会活動概要

協議会総会(2021/7/20)

- ・人事選任
- ・前年度の活動報告
- ・新年度の活動計画承認、等

研修プログラム

(セミナー・講習会・訓練)

幹事会、WG

令和4年度総会(2022/6/15)

- ア 中心市街地や高層建物などの特性を理解し、災害や防災への関心と地域防災活動への参加を促進する**セミナー**や**イベント**の開催
- イ 自助と共助を主とした災害対応活動を実践するために必要な知識や技術を身につける**講習会**(トレーニング)の開催
- ウ 身につけた知識や技術を活かし災害対応活動を総合的に実践できるようにする**訓練**の実施
- エ 訓練をふりかえり成果と課題、および改善点を認識するための**検証**

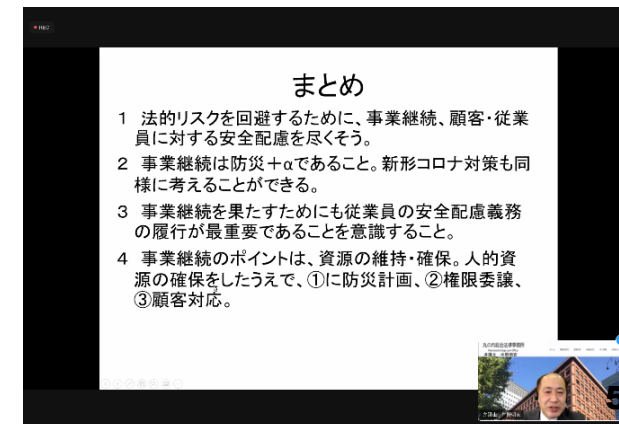
令和3年度協議会活動一覧

	総会・訓練	セミナー・講習会・イベント	周知啓発取組
2021 7月	7/20 【オンライン】(参加者数:54名) 総会		● 7/20 周知啓 発活動方針決 定
8月			希望調査をもとに ノベルティ配布等 を実施
9月			
10月			
11月			
12月	12/16 【対面】(参加者数:13名) 現地本部運営訓練	12/2 【対面・オンライン】(参加者数:11名) 現地本部運営訓練説明会	
2022 1月		1/14 【対面】(参加者数:14名) 一時滞在施設運営講習会・説明会 ※1/25 一時滞在施設運営訓練中止	
2月		2/8 【オンライン】(参加者数:44名) 応急救護講習会 自衛消防組織の震災対応活動講習会	
3月		3/3 【オンライン】(参加者数:49名) セミナー	

セミナー・講習会 実施報告

令和3年度 セミナー実施概要(報告書、9～14頁)

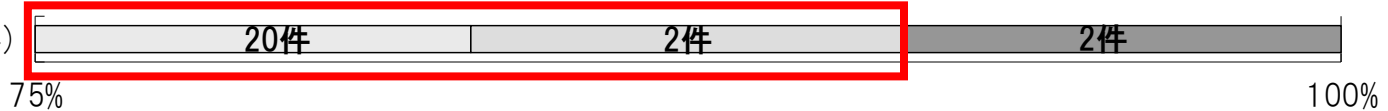
- **目的**: 中心市街地や高層建物などの特性を理解し、災害や防災への関心と地域防災活動への参加を促進する
- **実施方針**: 地震災害や防災対策への関心を高め、協議会活動の裾野を広げる
- **主な対象**: 協議会会員事業所・団体等
- **実施テーマ**: 災害対応における企業等の法的リスクと事業者連携による地域防災について学ぶ
 - ・ 題目: 災害対応における企業等の法的リスクと事業者連携による地域防災のポイント
 - ・ 講師: 丸の内総合法律事務所 弁護士 中野 明安 氏
- **実施形式**: オンライン配信
- **実施日**: 2022年3月3日(木)
- **参加申込者数**: 49名



アンケート調査結果（回答者数24名、回収率49%）

■ 本日のセミナーはいかがでしたか？

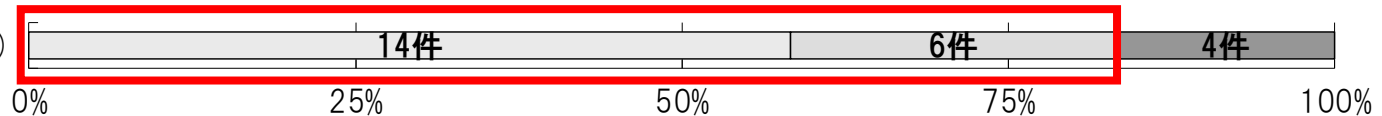
セミナーの内容について(N=24件)



☐ 良かった(20人) ☐ どちらかという良かった(2人) ☐ どちらともいえない(2人) ☐ どちらかというと良くなかった(0人) ☐ 良くなかった(0人) ☐ 回答なし(0人)

■ 講演「災害対応における企業等の法的リスクと事業者連携による地域防災のポイント」の内容は、参加者のみなさんの所属組織の防災・事業継続の取組みの推進や、危機対応力向上に役立つかと思いますか？

講演が役立つと思うか(N=24件)



☐ そう思う(14件) ☐ どちらかというと思う(6件) ☐ どちらともいえない(4件) ☐ どちらかというとは思わない(0件) ☐ そうは思わない(0件) ☐ 回答なし(0件)

上記の選択肢を選択した理由(抜粋)

- ・ BCPを作成したが実効性のあるものにするためには、企業は法的リスクを負っていることが分かり、経営層を含めた社員教育に活かせる
- ・ 法的リスクを回避するために安全配慮を尽くす必要性を改めて認識した
- ・ 事業者が連携し補い合う事で防災・事業継続に強い地域を作る事ができるのは望ましい
- ・ 災害時でも事業継続計画(BCP)が出来るような仕組みづくりを図る意義の大切さがわかった
- ・ 対応事例の中の越喜来小学校の「気付きの声」はまさに重要な要素で、そのような声が出る職場、そのような声を取り入れられる職場を築くことが、防災等の推進、危機対応力向上に役立つものと考えている。

令和3年度 講習会実施概要(報告書、22～42頁)

■目的

自助と共助を主とした災害対応活動を実践するために必要な知識や技術を身につける

■実施方針

自宅や勤務先からオンラインで参加・体験できる講習内容とする

■主な対象

協議会会員事業所・団体等

■実施テーマ

傷病者対応

自衛消防活動

■実施日

2022年2月8日(火)

■撮影・配信場所

日本赤十字社東京都支部、他

■参加申込者数:44名

受講証

氏名

あなたは、令和3年度 新宿駅周辺防災対策協議会 講習会を受講されたことを証します。

2022年2月8日発行

新宿駅周辺防災対策協議会



参加者に配布した受講証

新宿駅周辺防災対策協議会 講習会 プログラム

日時：2022年2月8日（火） 10：00～12：00，13：30～15：15

形式：Zoomによるオンライン講習会

司会：鱒沢工学研究所 代表 鱒沢 曜 氏

応急救護講習会

10:00 挨拶

新宿駅周辺防災対策協議会 座長 久田 嘉章 氏

10:05 ①災害時の自助・共助として、覚えよう心肺蘇生とAED

講師：日本赤十字社東京都支部事業部 救護課 防災業務係 石田 遊星 氏

11:05 ②震災対応における応急手当

講師：新宿消防署 救急技術担当係長 消防司令 上條 章 氏

自衛消防組織の震災対応活動講習会

13:30 挨拶

新宿駅周辺防災対策協議会 座長 久田 嘉章 氏

13:35 ①震災時における自衛消防活動

講師：新宿消防署 自衛消防担当係長 消防司令 橋本 芳則 氏

14:15 ②テレワークにおける震災対応について

講師：FM防災Lab 代表 上倉 秀之 氏

14:30 ③リモート訓練の紹介

講師：株式会社レスキューナウ危機管理研究所 代表取締役 市川 啓一 氏

■ 協力：東京消防庁新宿消防署、日本赤十字社東京都支部

オンライン講習配信状況(日本赤十字社東京都支部)

応急救護講習会



自衛消防組織の震災対応活動講習会



応急救護講習会(1)

①災害時の自助・共助として、覚えよう心肺蘇生とAED

■内容：身近にあるものを使った実技を行いながら、胸骨圧迫とAEDについて学ぶ

【概要】地震災害時の帰宅困難者対応をイメージする中で、救命処置の場面に居合わせた時にどうするか？をテーマとして、ペットボトルなどの身近なものを使用した心肺蘇生とAEDの実技講習を行った。講習の中では、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による救急蘇生法を紹介した。

①災害時の自助・共助として、覚えよう心肺蘇生とAED



応急救護講習会(2)

②震災対応における応急手当

■内容：平時でも活用できる「止血・創傷の応急処置」「骨折などの固定処置」について、視聴覚教材を用い実技を行いながら学ぶ

【概要】都市部では地震災害時に様々な要因で多数のけが人が発生することを想定し、一般市民にできる応急手当として、三角巾を用いた止血および固定処置に関する実技講習を行った。



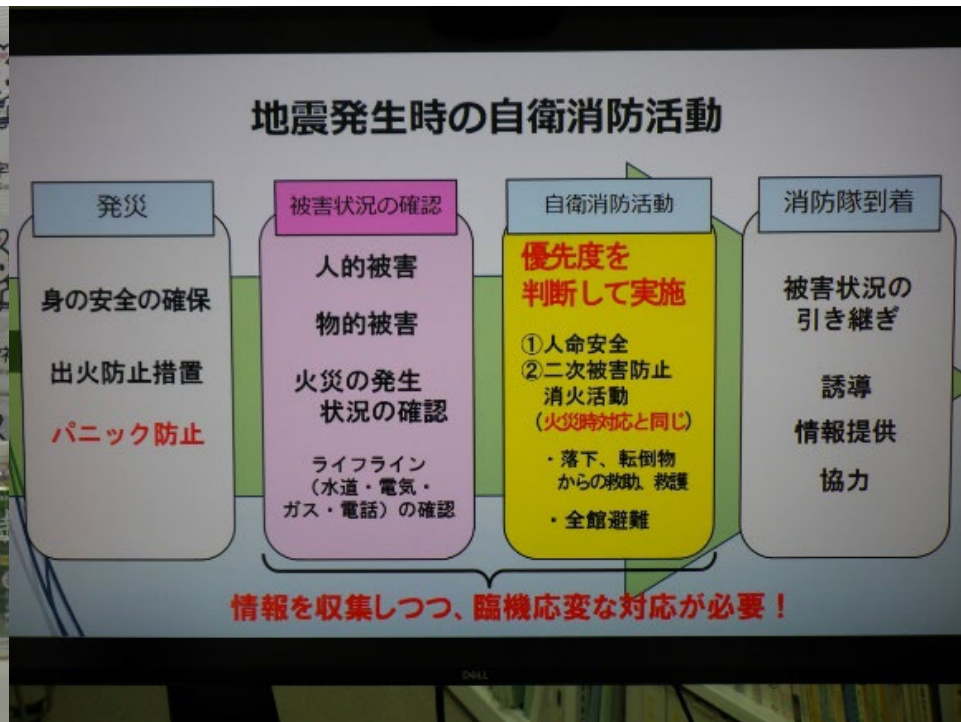
自衛消防組織の震災対応活動講習会(1)

①震災時における自衛消防活動

■内容：自衛消防隊の活動について、視聴覚教材等を用いて学ぶ

【概要】過去の震災における建物等の被害事例、道路状況および火災事例を示し、首都直下地震等による東京の被害想定、震災被害の特徴、地震による火災の特徴を踏まえた地震発生時の自衛消防活動の重要性とその内容について解説した。

①震災時における自衛消防活動



自衛消防組織の震災対応活動講習会(2)

②テレワークにおける震災対応について

■内容: 自衛消防隊員が出社できないときの対応について解説する

【概要】戦国時代からの災害対応の変遷を示し、現在では被災地に参集しなくても災対本部が運営できること、災対本部と現場復旧を分けて考えること、オフィス勤務者全員が自衛消防隊の役割を果たすことの重要性について解説した。

②テレワークにおける震災対応について

FM防災Lab2022/02

テレワークにおける震災対応



- ◆ 自宅の安全・安心は一人一人が築くものですが、知識やノウハウは研修が必要です。
- ◆ テレワーク浸透により、Webを活用した研修は取り組みやすくなっています。

体を動かして体得する訓練や互いの連携の訓練などは、難しい場合もありますが、「今できる事」が災害対応には重要です。

自衛消防組織の震災対応活動講習会(3)

③リモート訓練の紹介

■内容：震災時の状況把握のための初動対応リモート訓練を紹介する

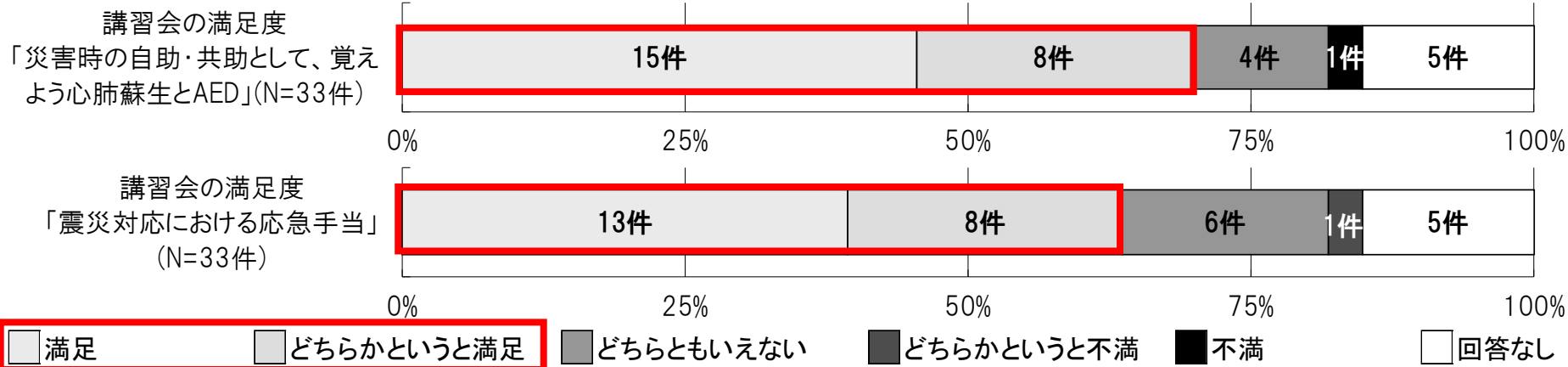
【概要】災害対応の流れを構築し、実践的な訓練を繰り返すことの重要性を示したうえで、具体的なリモート防災訓練を紹介した。

③リモート訓練の紹介

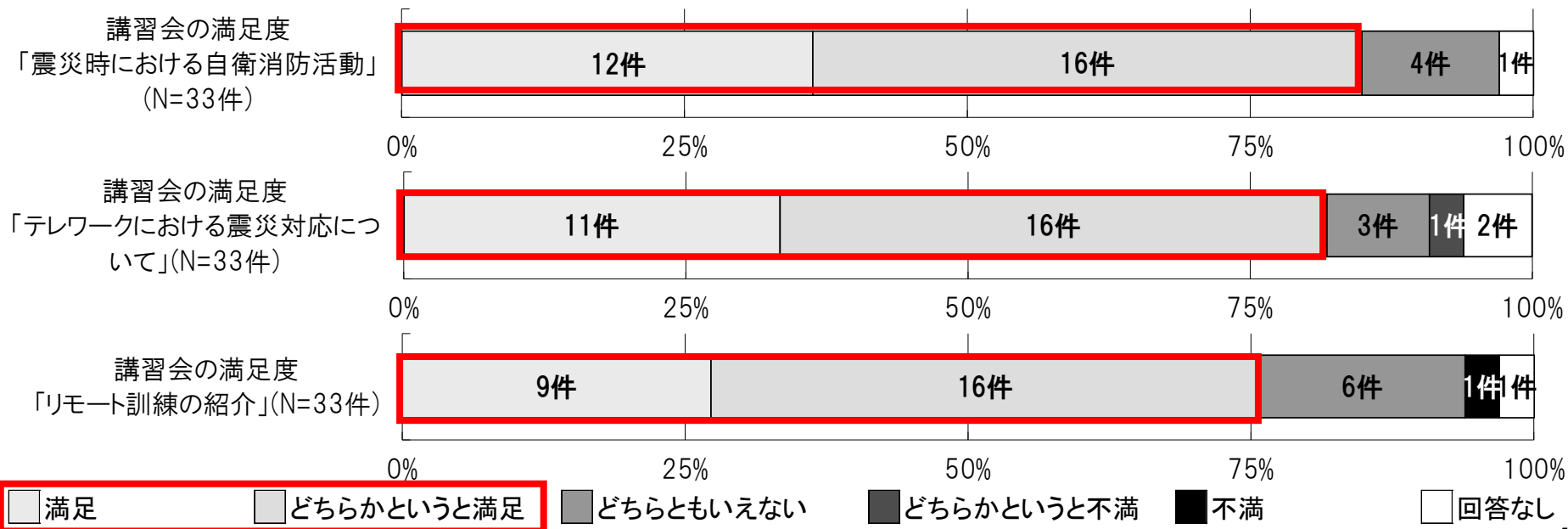


アンケート調査結果(講習会の満足度)

応急救護講習会

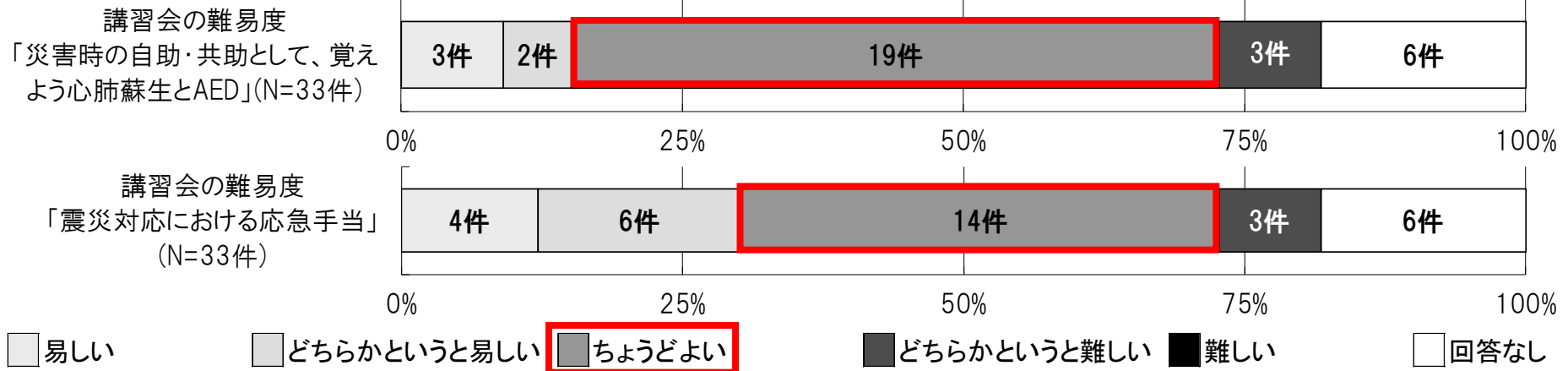


自衛消防組織の震災対応活動講習会

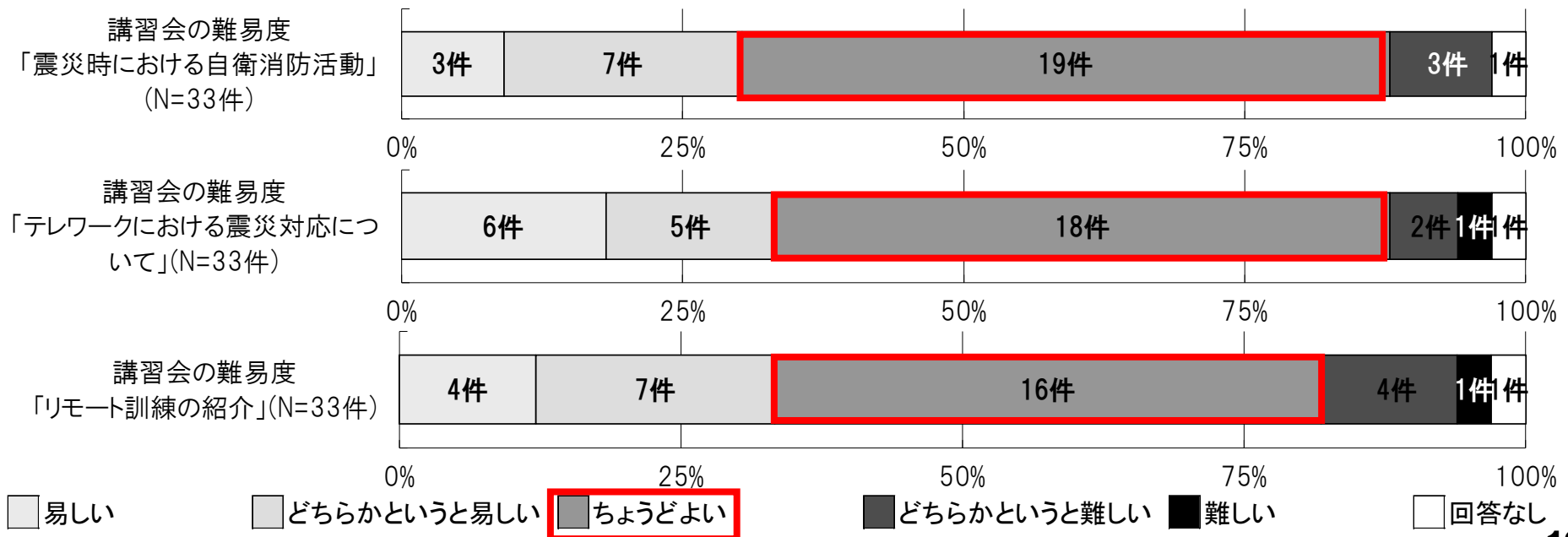


アンケート調査結果(講習会の難易度)

応急救護講習会



自衛消防組織の震災対応活動講習会



アンケート調査結果(役立つと思う講習内容)抜粋

■応急救護講習会

- 三角巾の折り方、手当の仕方、AEDの使い方
- 定期的に受講する事の重要性がわかった
- 具体的に動画で説明されているので、大変分かりやすかった
- 感染対策しながら適切な一次救命措置を行う重要性を理解できた
- 身近にあるものを使用しての胸骨圧迫・AED実技訓練はとても役立つ

■自衛消防組織の震災対応活動講習会

- 講義①で、改めて所内の初動体制の見直しができる
- 講義②の災害対応のシステム作り、講義③の実効性のある訓練の構築について情報をいただいたことにより、既存の訓練を打開するヒントを得た
- テレワークに伴うオフィス人員全員のレベルアップが重要であり、防災web研修の活用を積極的に行う必要性を感じた
- 新型コロナ感染症下における自衛消防訓練の実施について苦心しているところ、アイデアをいただいた